



宍道ライオンズクラブ

かわら版

令和3年5月15日
第38号

宍道ライオンズクラブ事務局
まつえ南商工会内
TEL 070-2369-8139

会長スローガン

「明るく！元気で！ W E S E R V E」

田本会長、しんじ幼保園を訪問

宍道ライオンズクラブ（田本総会長）が、しんじ幼保園（宍道町宍道、金山由美子園長）の園庭に築山と赤土山を「プレゼント」して丸1年が経ちました。2つの山は園児たちに大人気で見える間に低くなったと聞き、早速、田本会長が訪問し、金山園長に園児の成長と2つの山とのかかわりなどについて伺いました。聞いてビックリです。

贈った築山・赤土山が大人気



▲築山をバックに金山園長に園児の成長ぶりなどを聞く田本会長

ダンゴづくりで 標高が下がる

田本 1年前の築山は2メートル以上あったと思えますが、今見ると随分低くなっていますね。それほど園児たちが山で遊んでいるということですか？

金山 その通りなんです。山を上り下りするだけでなく、子どもたちは山を川などいろんな場に見立てて自由な発想で思い思いに楽しんでいるんですよ。年長児には簡単に登れる山でも、2歳児にとってはそびえるような山。それでもお兄ちゃんやお姉ちゃんの後を追って懸命に登っていきます。登り切れば、山は川になったり滑り台になったりと世界が急に広がっていく。子どもの創造力には驚かされます。

田本 それにしても造った当時より50センチ以上も低くなっていますね。一体、園児たちはどんな遊びをしているのですか？

金山 上り下りで低くなったのはもちろんですが、子ども

たちに人気の「光るダンゴ」作りに築山の土がピツタリなんだそうです。日にちをかけて硬い土ダンゴをつくり、布でこすってピカピカに仕上げていくのだそうです。「光るダンゴ」は子どもたちには宝ものなんです。特に山のてっぺんあたりの土が人気で、火山の噴火口のようにえぐれて低くなってしまう。田本 築山がそんなに人気とはちょっと驚いてしまいました。でも、さすがに冬場は園児たちも築山では遊ばないでしょう？



▲冬、ソリ場となった築山を滑り降りる園児（しんじ幼保園提供写真）

泥んこ遊びに冬はソリ場

金山 いやいや、いつもは段ボール滑りの場が雪が積もるとソリ場になり子どもたちは大喜びで外に飛び出します。年少組には長くて急な坂で大冒険のはずなんです、キャッキャツと言って飽きずに滑っています。

田本 築山をこれほど喜んでいただけるとは、ビックリしました。もう一つの赤土山はいかがですか？

金山 赤土山は、築山とは違って粘土質でトロトロ、グチャグチャ。ここでの泥んこ遊びも子どもたちは大好きで、全身泥だらけになって



▲赤土山で泥んこになって遊ぶ園児たち (しんじ保育園提供写真)

滑ったり登ったりして健康な体作りや創造力、みんなと協力し、いたりわり合う気持ちや育つなど、遊びの中で育つものは非常に多いと日々感じています。保護者は洗濯が大変でしょうが、その効果にはご理解いただいています。築山と赤土山を造っていただき心から感謝しています。

田本 宍道ライオンズクラブでは25年前から同園とは毎年末にクリスマス交流会を行って遊具などを贈っています。が、今回の築山と赤土山がこれほど喜んでいただけるとは思ってもいませんでした。なにか、しんじ保育園との距離



▲できたばかりの築山で園児たちと記念写真。当時の高さは優に2メートル以上 (令和2年7月)

がグンと近くなったような気がします。これからも交流を重ね、ライオンズクラブのモットーである「We Serve (我々は奉仕する)」の精神のもと、教職員や保護者の皆さんと一緒に、宍道町の未来を担う子どもたちの育成に尽くしたいと今日、改めて思いました。

with JOX ミニフォトアラカルト

2020年12月17日
ライオンズ国際平和ポスターコンテスト最優秀賞を表彰



左から犬山穂乃佳さん (当時来待小6年)、熊谷豪さん (同宍道小6年)、中林拓音さん (同宍道中1年)、田本総会長

2021年2月4日 献血活動
(ショッピングセンター ペル店頭)



5月14日 ライオンズクラブレディの会
トロッコ列車で小旅行



宍道ライオンズクラブ ホームページ▶ <http://ww52.tiki.ne.jp/~shinjilc/>
(クラブ方針、活動内容、役員会構成、かわら版などがご覧になれます)